

V60 Auto Pour over
SMART 7

- 取扱説明書
- 操作ガイド

V60 Auto Pour over
SMART 7V60オートプアオーバーSmart7 スマートセブン
EVS-70 (家庭用コーヒーマーカー)**取扱説明書****保証書付**

お買いあげ誠にありがとうございます。

正しくご使用していただくため、ご使用前に
この取扱説明書を必ずお読みください。

また、本書は保証書が付属しておりますので
お読みになりましたら、大切に保管してください。



ご使用のまえに

1

安全上のご注意

2

各部の名称

4

初めて使うとき

5

ご使用方法

コーヒードリップの準備

6

ご使用方法

各モードの基本操作

7

設定モードを使う

8

本体のお手入れ

9

故障かな?と思ったら

10

製品仕様・保証書

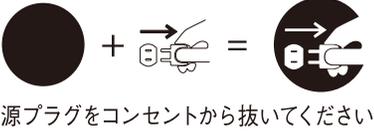
裏表紙

詳細な使用方法については
別冊 操作ガイド をご活用ください

ご使用のまえに

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  電源プラグをコンセントから抜いてください  指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

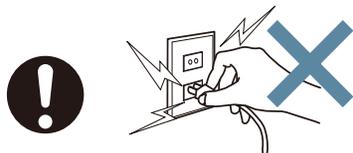
愛情点検	長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷がついていたり、通電したりしなかったりする。 <p>このような症状のときは、事故防止のため、使用を中止しコンセントから電源プラグを抜いて、販売店または当社のご相談窓口にて点検をご相談ください。</p>

安全上のご注意

電源プラグ・コンセントについて

⚠ 警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。修理は販売店または弊社ご相談窓口までお問い合わせください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



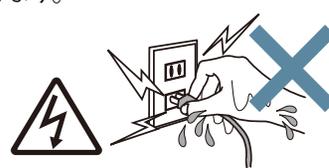
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いてください。プラグにほこりがたまるとう湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



コード・電源プラグを破損することはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



設置場所について

⚠ 警告

不安定な場所では使用しないでください。けが・故障の原因になります。



⚠ 注意

長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。



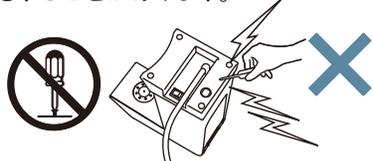
壁や家具の近くでは使わないでください。また、上にモノを載せて使用しないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因になります。収納棚などの中で使用するときには蒸気がこもらないように注意してください。



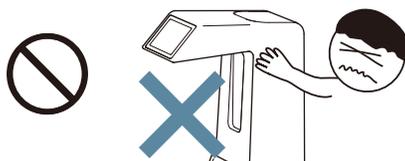
ご使用について

⚠ 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。感電・やけどをする恐れがあります。



蒸気口付近に手や顔を近づけないでください。やけどをする恐れがあります。とくに乳幼児には触らせないようにご注意ください。



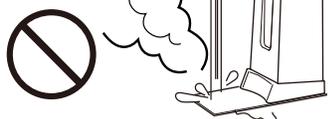
安全上のご注意

安全上のご注意

ご使用について

警告

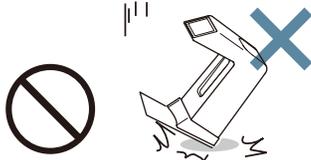
ドリッパーとサーバーを必ず本体の
 抽出口の下に置いた状態で使用
 してください。



本体を丸洗いしたり、水をかけたり、
 浸けたりしないでください。ショート、
 感電のおそれがあります。



強い衝撃を与えないでください。
 破損・故障・短寿命の原因となります。



使用中や使用直後はタンクやその
 周囲、サーバーなど高温になっ
 ている部分には触れないでください。
 やけどの恐れがあります。



本体動作中及びドリッパーとサー
 ーを載せたまま本体を動かさないで
 ください。やけどやけがの原因になり
 ます。



注意

コーヒー粉を入れすぎないでください。
 50g以上のコーヒー粉をいれると
 コーヒーがあふれてやけどするこ
 とがあります。



タンクに水道水以外のものを入れ
 ないでください。お湯、牛乳・コー
 ヒーなどを入れしないでください。
 故障の原因になります。ミネラル
 ウォーターやアルカリイオン水な
 どは内部に石灰分がつきやすいた
 めおすすめできません。



加熱中はフタを開けたり、差し水
 をしたりしないでください。高温
 の蒸気による、やけどの原因にな
 ります。



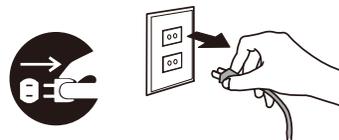
続けてコーヒーを抽出するときは、
 電源を切り5分以上待つてくださ
 い。本体が熱いうちにタンクに水
 を入れるとタンクから蒸気が出
 てやけどするおそれがあります。



水量目盛MAX 700ml以上の水
 を入れないでください。入れ過ぎ
 ると背面より水が溢れ出します。



お手入れするときは、スイッチを
 切り、電源プラグを抜いてくださ
 い。



水蒸気の発生により本体に水が
 ついたときは乾いた布でふきと
 ってください。(タンクの入り口
 周辺/抽出口付近など)



タンクに水が入っていない状態
 で使用しないでください。空焚
 きになり故障・事故の原因とな
 ります。



サーバー・ドリッパーについて

注意

サーバーは火にかけないでください。



ガラスは割れるものです。洗浄
 やご使用時はていねいにお取り
 扱いください。また、破損した
 際のお取扱いは、ケガをしない
 よう十分ご注意ください。



廃棄について

注意

廃棄する際は、各自治体の指示
 に従い分別してください。



各部の名称

開梱後、内容物をご確認ください。

ウォータータンク フタ

△使用中はフタを開閉しないでください。

本体

△天面にモノを載せないでください。

タッチパネル

本製品の操作は全てタッチパネルを使用します。

電源スイッチ

△底面上部に設置されています。

スイッチ図



OFF ↔ ON

抽出口

△抽出中は熱い蒸気が出ますので、顔や手を近づけないでください。

抽出口断面イメージ図



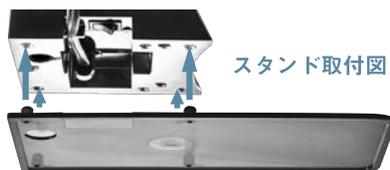
電源プラグ
電源コード

ウォータータンク

△水量目盛のMAX 700ml 以上水を入れないでください。

転倒防止スタンド

△ご使用の前に必ず取り付けてご使用ください。



スタンド取付図

ドリフトレイ

△固定されません。

※製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

同梱の付属品



V60 用 ペーパーフィルター 02W
(VCF-02-40W)
40 枚



V60 コーヒーサーバー
02 サイズ (品番 : XGS-60)

材質 : 耐熱ガラス、シリコーンゴム
※(P9 サーバーのお取り扱い) を参照してください。



計量スプーン
(品番 : M-8)
コーヒー粉すりきり約 8g
材質 : ポリプロピレン



V60 ガラスドリッパー
02 サイズ

材質 : 耐熱ガラス、ステンレス、シリコーンゴム

ペーパーフィルターのお求め



白

V60 用 ペーパーフィルター 02W
品番 : VCF-02-40W (白 / 40 枚入り)
※本製品 (EVS-70) セット品

V60 用 ペーパーフィルター 02W
品番 : VCF-02-100W (白 / 100 枚入り)



茶

V60 用 ペーパーフィルター 02M
品番 : VCF-02-40M (茶 / 40 枚入り)

V60 用 ペーパーフィルター 02M
品番 : VCF-02-100M (茶 / 100 枚入り)

V60 円すい型ペーパーフィルターは別売りしております。お買い求めの際は、コーヒーメーカーをお求めになったお店にお問い合わせいただくか、下記の弊社通信販売をご利用ください。本製品は V60 用 02 サイズの各部品がご使用できます。

【通信販売】

弊社ネットショップ

ハリオパーツ 検索

または、
フリーダイヤル 0120-39-8208

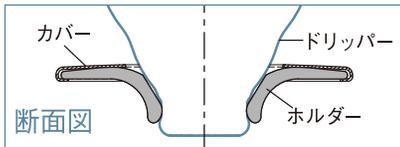
[平日 9 : 00 ~ 18 : 00]

*ペーパーフィルターは円すい型の「V60 用ペーパーフィルター 02」をお求めください。紙のタイプは「白」と「茶」があり、どちらもお使いいただけます。

初めて使うとき

本体から取り外せる下記のもの洗淨してください。

グラスドリッパー



グラスドリッパーは3つの部品で構成されています。断面図をご確認いただき、ホルダー部からガラスが抜けられないよう注意してセットしてください。



サーバー

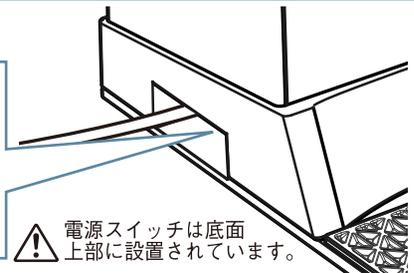
計量スプーン



1. 電源スイッチを入れる

本体の電源スイッチを押して電源を入れます。

電源スイッチ



⚠ 電源スイッチは底面上部に設置されています。

2. HOME 画面からスタートする

画面の  をタッチしてスタートします。

初めて使うとき

 Check



感圧式タッチパネルを搭載しています。画面に少し圧力を加えてください。



言語を変更する

*各画面で HOME をタッチするとこの画面に戻ります。

P. 6 からのコーヒードリップの準備
P. 7 各モードの基本操作ならびに
別冊 操作ガイドをご活用ください。

P.6 へ

(P 9 本体のお手入れ)

☆洗淨運転を必ず行ってください。

P.9 へ

⚠ 最初に使用するときや、しばらく使用しなかったときは必ず「☆洗淨運転」を行ってください。

言語を変更する

言語を選択し、 で戻ります。



コーヒードリップの準備

1. ウォータータンクに水道水を入れる

本製品は決められた使用湯量のみを使い、残りはウォータータンク内に残ります。必ず表示されている使用湯量以上の水を入れてください。

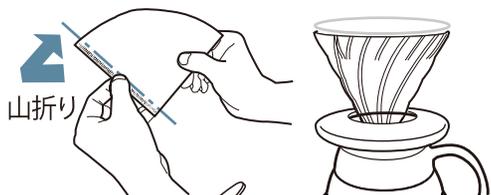


サーバーを使用し、図のようにタンクの後ろ側から入れてください。

杯数	使用湯量 ※オートモードの場合	抽出開始までの加熱時間目安 ※水温 20度・93℃設定の場合
2cups	270ml	3分30秒
3cups	410ml	4分30秒
4cups	530ml	6分
5cups	660ml	7分30秒

※上記は使用湯量です。できあがり量は湯温や粉の状態によって異なります。

2. ペーパーを折り、ドリッパーにセットしコーヒー粉を入れる



ペーパーフィルターのチャック部（点線部）を折り曲げ、ドリッパーの内側に密着させてセットし、サーバーの上にのせます。

⚠ サーバーのフタは必ず取り外してご使用ください。



杯数分のコーヒー粉を入れます。コーヒー粉は少しゆすって平らにします。

付属の計量スプーンですりきり 1 杯がコーヒー 1 杯分です。5 杯分の場合はすりきり 5 杯入れます。

※コーヒー粉は中細挽きをおすすめします。

⚠ コーヒー粉が多すぎると抽出中にドリッパーからあふれ出す恐れがあります。オートモードでは 50g を限度としてください。

⚠ コーヒー粉を入れたドリッパーは、サーバーの中心に置いてください。

⚠ サーバーに氷を入れて抽出しないでください。コーヒーがあふれ出す恐れがあります。

すりきりで約 8g

約 7g のライン

約 6g のライン



計量スプーンについて

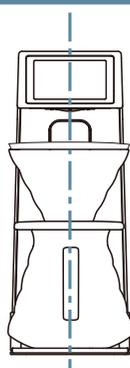
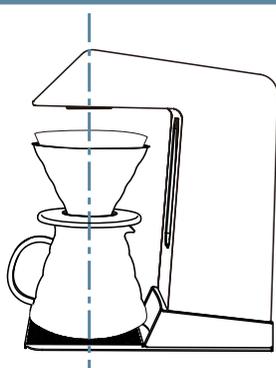
コーヒー粉を計る際の目安にしてください。

計量スプーンのスリきり 1 杯は約 8g です。

お好みのコーヒーの濃度により粉の量を調整してください。

薄めに抽出したいときは計量スプーンのスリきり 7g や 6g のラインを目安に入れてください。

3. サーバーとドリッパーを、本体にセットする



ドリッパーを載せたサーバーを抽出口の下に置きます。サーバーを置いていない、または中心に置かれてないと、熱湯が外にこぼれ出て、やけどをする恐れがあります。

Check
正しく中心に。

サーバーとドリッパーを抽出口の中心に合わせて置くことでお湯がコーヒー粉に均一にかかります。

各モードの操作については

P.7 各モードの基本操作
別冊 操作ガイド

を参照してください。

各モードの基本操作

オートモードでコーヒードリップをする

※必ず（P.6 コーヒードリップの準備）を終えてから操作してください

1. 水残りの確認をする

オートモード選択時、必ず右記の画面が出ます。

ウォータータンクに古い水が残っていないか？を確認します。残っていない場合は **いいえ** で次に進んでください。残っている場合は **はい** で残っている水を排出する **Drain モード** へ移動してください。→（P.8 Drain モード参照）



2. 2cups ~ 5cups から使用する cup 数をえらびます。

オートモード画面



3. ウォータータンクに使用水量以上の水が入っているか確認してから中央のスタートボタンを押してください。



Point

抽出設定モードから簡易的に好みの温度や速度を設定できます※内容は本体に記憶されます

抽出設定モード



湯温を3種類

90°C・93°C・96°Cから選択できます。ドリップのスピード（シャワーの強さ）はおすすめとはやいの2段階から選べます。※お好みで選択してください。

決定後 **Back** で戻ります。

ご使用方法
各モードの基本操作

マイレシピモードでコーヒードリップする

※必ず（P.6 コーヒードリップの準備）を終えてから操作してください

好みの湯量・時間を設定し自由度の高いこだわりのコーヒードリップが楽しめるモードです。

コーヒーのハンドドリップには下図のような要素・流れがあり、マイレシピモードでは湯温→使用湯量→むらし湯量→インターバル→抽出湯量の順番で入力していきます。

コーヒードリップの簡単な流れ



Check

湯温

総湯量

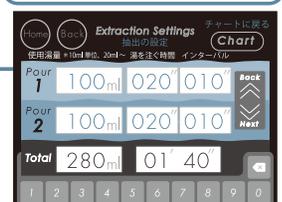
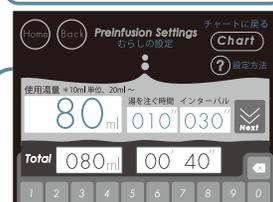
Step1

湯温・総湯量を決めます



むらし湯量・時間

抽出湯量・時間

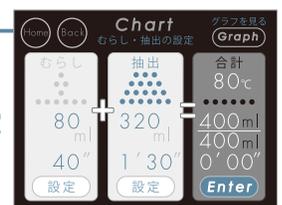


むらし湯量・時間設定

抽出湯量・時間設定

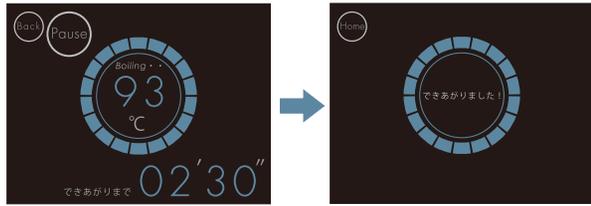
Step2

総合的な湯量・時間設定をチャートで確認します



コーヒードリップが終わったら

ウォータータンク内の湯温が中央に表示され、設定温度に達すると抽出が開始され、画面右下で残り時間がカウントされます。全ての工程が終わると、完了画面が表示されます。



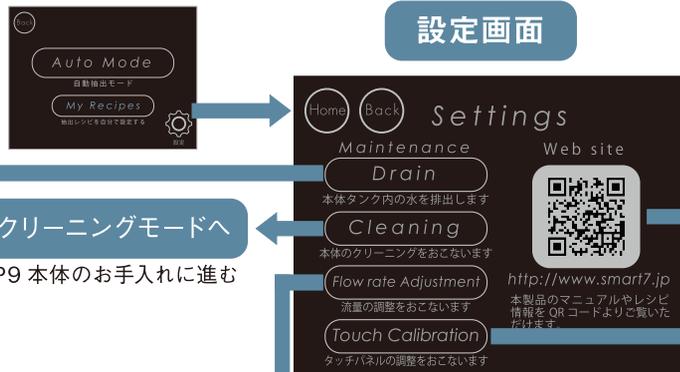
抽出後、左図のようにペーパーは指でつまみあげて捨ててください。サーバーにフタをし、カップに注いでできあがりです。



時間の経過と共に、コーヒーの味と香りは損なわれます。なるべく早いうち（30分以内）にお召し上がりください。

設定モードをつかう

設定ボタンから各種設定がおこなえます。



設定画面

クリーニングモードへ
P9 本体のお手入れに進む

本製品のマニュアルや
レシピ情報を QR コード
よりご覧いただけます。

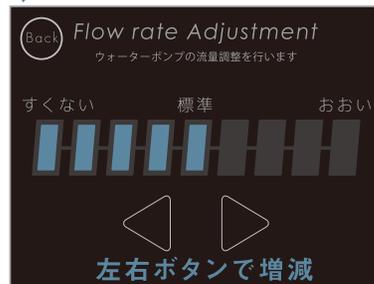
Drain



ウォータータンク内にある水を排出します。

※ドリッパーとサーバーを必ず本体の抽出口の下に置いた状態で行なってください。

流量調整



機械部品やポンプの劣化等により、湯量が増減する可能性があります。

※湯量の基本誤差は総湯量の±8%です。使用時、明らかに湯量の違和感を感じた場合、この流量調整モードで流量の調整を行なってください。

タッチキャリブレーション



タッチ操作のズレ補正をおこないます。左上から順に四隅の+が青に変わっている場所を順番にタッチしてください。画面にOKが出れば調整完了です。

付属品のお手入れのしかた

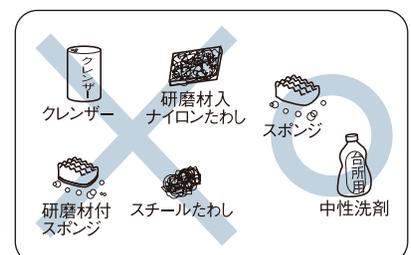
やわらかいスポンジに中性洗剤を使用し水洗いしてください。

食器洗い乾燥機のご使用ができます。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。



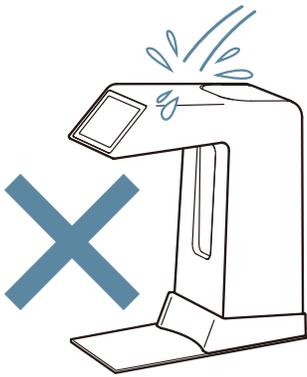
ガラス製品の取り扱いについて

⚠ やわらかいスポンジでも、右図のようにクレンザーやガラスに傷のつく研磨材、または研磨粒子がついているスポンジなどは使用しないでください。思わぬときに破損する原因となります。



● 汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。

本体のお手入れ



本体 …… ⚠️ **水洗いできません。** ⚠️ お手入れは必ずスイッチを切りプラグを抜いて、十分に冷えてから行ってください。

本体表面の汚れは湿った布で拭いたあと、乾いた布でふき取ってください。

⚠️ シンナー、ベンジン、除光液、ミガキ粉、たわしなどは使用しないでください。変形、変色、傷などの原因になります。

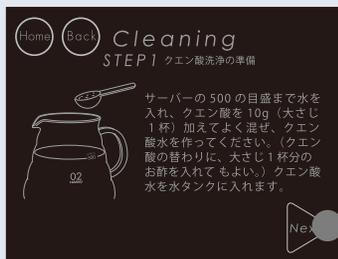
石灰分の除去について

内部の給湯パイプ・ポンプなどに湯アカ等(水中の石灰分)が付着することで抽出スピードが遅くなります。使用頻度にもよりますが、3ヶ月～半年に一度を目安に、クエン酸洗浄を行なってください。

クエン酸洗浄の手順

(P.8 参照) 設定モードからクリーニングモードを選び、下記の画面まで進み、手順に沿って行ないます。

☆**洗浄運転**：初めて使用するときは①、②の工程をクエン酸を使わず水だけで行ってください。



① サーバーの500の目盛まで水を入れ、クエン酸を10g(大さじ1杯)加えてよく混ぜ、クエン酸水を作ってください。(クエン酸の代わりに、大さじ1杯分のお酢を入れてもよい。)クエン酸水をウォータータンクに入れます。



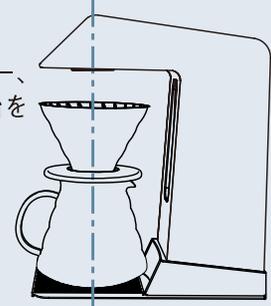
NEXT で次へ



② ドリッパーとサーバーを本体にセット(ペーパー、コーヒー粉は入れません。)し、洗浄運転の開始を押してください。

洗浄運転の開始をタッチ

終了したら NEXT で次へ



③ クエン酸洗浄が終わったらサーバーの水を捨て、5分以上置き、水だけですすぎ運転を数回行ってください。(クエン酸のニオイを取るため。)サーバーの500の目盛まで水を入れ、ウォータータンクに注ぎ、すすぎ運転ボタンを押してください。

すすぎ運転の開始を押す

終了したら Finish で終わる

本体のお手入れ

サーバー・ドリッパーのお取り扱い

⚠️ 直火にかけられません。

⚠️ ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取扱ってください。

⚠️ お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。

- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは、思わぬときに破損することがありますので、使用しないでください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。破損の原因になります。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自自治体の指示に従い分別してください。



⚠️ 本製品はサーバーとフタのみ、電子レンジでの使用が可能です。他の部品は電子レンジでのご使用はできません。電子レンジ以外の加熱器具は使用しないでください。

⚠️ 突然一気に沸騰して液体が激しく吹き出す恐れがあります(突沸現象)。電子レンジから取り出す際は顔などを近づけないでください。

- 突沸現象については、弊社ホームページwww.hario.comをご参照ください。
- 外側の水滴は拭き取ってから電子レンジに入れてください。
- 空だきや中身が少ない状態で使用しないでください。
- ご使用の際は、お手持ちの電子レンジの取扱説明書をよくお読みください。
- 電子レンジ加熱後は熱くなりますので、持ち運びの際は、なべつかみなどを使って器全体や取手を持ってください。また、ビニール製のテーブルクロスなど、熱に弱いものの上には置かないでください。台に置く際は必ずなべしきなどをご使用ください。
- ガラス本体が熱いうちにぬれた布でふれたり、ぬれた台の上に置くと、急激な温度変化により破損する場合があります。おやめください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。その後、本体が冷えてから、下記の内容をチェックしたうえ、症状が改善しない場合は弊社「ご相談窓口」にお問い合わせください。

状態	予想される原因	対処のしかた
アラーム音が鳴った。 (ピピピッと音が鳴りエラー) (画面が表示される)	画面の状態  ウォータータンク内の水温が高すぎます。0分はボタンスイッチを押して中の水を60℃以下の水に入れ替えてください。0分経過後自動的に電源がオフになり、ウォータータンク内の水が冷えます。ウォータータンク内の水を再充填します。 Drain 60℃以上のお湯をタンクに入れた。	Drain を押し、お湯を捨て、新たに水を注ぎ、ウォータータンク内の水温を 60℃以下の水にします。Next ボタンから再度スタートしてください。
	 ウォータータンク内に水が入っていません。Back ボタンで戻り、ウォータータンクに水を入れ、スタート ボタンを押してください。 タンク内に水が入っていない。	ウォータータンクに水を入れてご使用ください。
	 サーマーター エラー センサーが故障している	ただちに使用を中止し当社のご相談窓口までご連絡ください。
タッチパネルが表示されない・反応しない	電源プラグがコンセントに入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が入っていない。	電源スイッチを押して、電源を入れてください。
	タッチパネルが誤動作を起こしている。	(P.8 設定「タッチ調整モード」参照) タッチパネルの補正をおこなってください。
コーヒーができない。	電源プラグがコンセントに入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が入っていない。	電源スイッチを押して、電源を入れてください。
	ウォータータンクに水がない。	ウォータータンクに水を入れてください。
	コーヒー粉が入っていない。	ペーパーをセットして粉を入れてください。
コーヒーの出が悪い。	コーヒー粉 (挽き具合) が細かすぎる。	中細挽きのコーヒー粉を使用してください。
	ポンプ・給水管に石灰分が付着している。	石灰分の除去をするため、クエン酸洗浄をしてください。(P.9「クエン酸洗浄」参照)
コーヒーが溢れる。	コーヒー粉を入れすぎている。	コーヒー粉を入れすぎないように調整してください。※オートモードでは 50g 以下で使用してください。
	コーヒー粉 (挽き具合) が細かすぎる。	中細挽きのコーヒー粉を使用してください。
抽出したコーヒーがぬるい。	コーヒー豆 / 粉を冷凍庫・冷蔵庫に保管していた。	コーヒー豆 / 粉が常温になった事を確認してから使用してください。
ペーパーの臭いが気になる。		本体にセットする前に、ドリッパーにペーパーをセットした状態で熱湯を注ぎ、ペーパーにお湯を通してからご使用ください。

このような症状はありませんか？	
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードやプラグが異常に熱くなることがある。 ●電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりすることがある。 ●焦げ臭いにおいがすることがある。 ●その他の異常や故障がある。 	使用を中止し電源プラグをコンセントから抜き、正常に動作しない時は必ず販売店か当社のご相談窓口までご連絡ください。お客様ご自身の分解、修理などは大変危険ですので絶対にしないでください。

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

保証期間中は必ずご相談窓口までご一報の上、製品に保証書を添えてご送付ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。当社のご相談窓口までご連絡ください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

3. 修理用部品の最低保有期間

当社はコーヒーメーカーの補修用部品を製造打ち切り後、最低5年保有しています。当社のご相談窓口までご連絡ください。

故障かな？と思ったら

製品仕様

電源	AC100V 50Hz/60Hz共用	定格消費電力	750W
容量	最小容量270ml・最大容量700ml	動作保証温度	0℃～40℃
サイズ	幅245・奥120・高290 (mm)		
コード長さ	1.5m		
重量	2.0kg		
材質	本体 / ABS樹脂・PCT樹脂・シリコーンゴム・アルミニウム スタンド / PC樹脂 ドリップトレイ / シリコーンゴム ドリッパー / 耐熱ガラス・シリコーンゴム・ステンレス サーバー / 耐熱ガラス・シリコーンゴム スプーン / ポリプロピレン		

- 本体、スタンド：韓国製 ●ガラスドリッパー、サーバー式、ペーパーフィルター：日本製
- ドリップトレイ、ホルダーカバー、スプーン：中国製
- ・この製品は日本で品質管理し、組立てたものです。

ご相談窓口

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3
フリーダイヤル：0120-39-8208

V60 Auto Pour over V60オートブアオーバーSmart7

SMART7

操作ガイド

本操作ガイドは 別冊 取扱説明書 と合わせてご使用ください

はじめに

別冊 取扱説明書 (P.5~6 初めて使うとき・コーヒードリップの準備) をお読みいただき、使用前の準備を終えてください。

1 Auto Auto Mode オートモードでコーヒーを抽出する

自動抽出モード

Step 1 水残りの確認をする

オートモード選択時、必ず右記の画面が出ます。

ウォータータンクに古い水が残っていないか？を確認します。残っていない場合は「いいえ」で次に進んでください。残っている場合は「はい」で残っている水を排出する Drain モードへ移動してください。
→ 取扱説明書 (P.8 Drain モード参照)



Point

抽出設定モードから簡易的に好みの温度や速度を設定できます※内容は本体に記憶されます

抽出設定モード



湯温を3種類 90°C・93°C・96°Cから選択できます。ドリップのスピード(シャワーの強さ)はおすすめとはやいの2段階から選べます。※お好みで選択してください。決定後 (Back) で戻ります。

Step 2 2cups ~ 5cups から使用する cup 数を選択します

杯数	使用湯量 ※オートモードの場合	抽出開始までの加熱時間目安 ※水温 20 度・93℃設定の場合
2cups	270ml	3分30秒
3cups	410ml	4分30秒
4cups	530ml	6分
5cups	660ml	7分30秒

※上記は使用湯量です。できあがり量は湯温や粉の状態によって異なります。

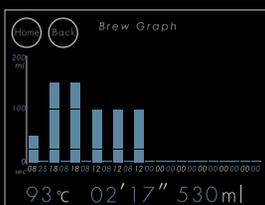


Step 3 準備を整え、スタートボタンを押し、抽出を行ないます。

ドリップの準備をする

取扱説明書 (P7 コーヒードリップの準備) を参照し抽出の準備が整ったら、Start を押す

ブリューグラフ



棒グラフで抽出計画が確認できます。



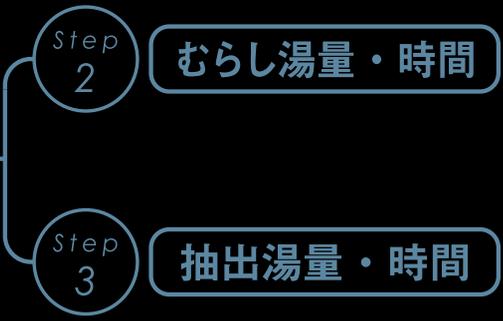
抽出中画面



中心にタンク内水温が表示され、設定の温度に達すると、右下の抽出時間カウントが始まります。抽出が終了すると終了ブザーが鳴り、できあがりです。

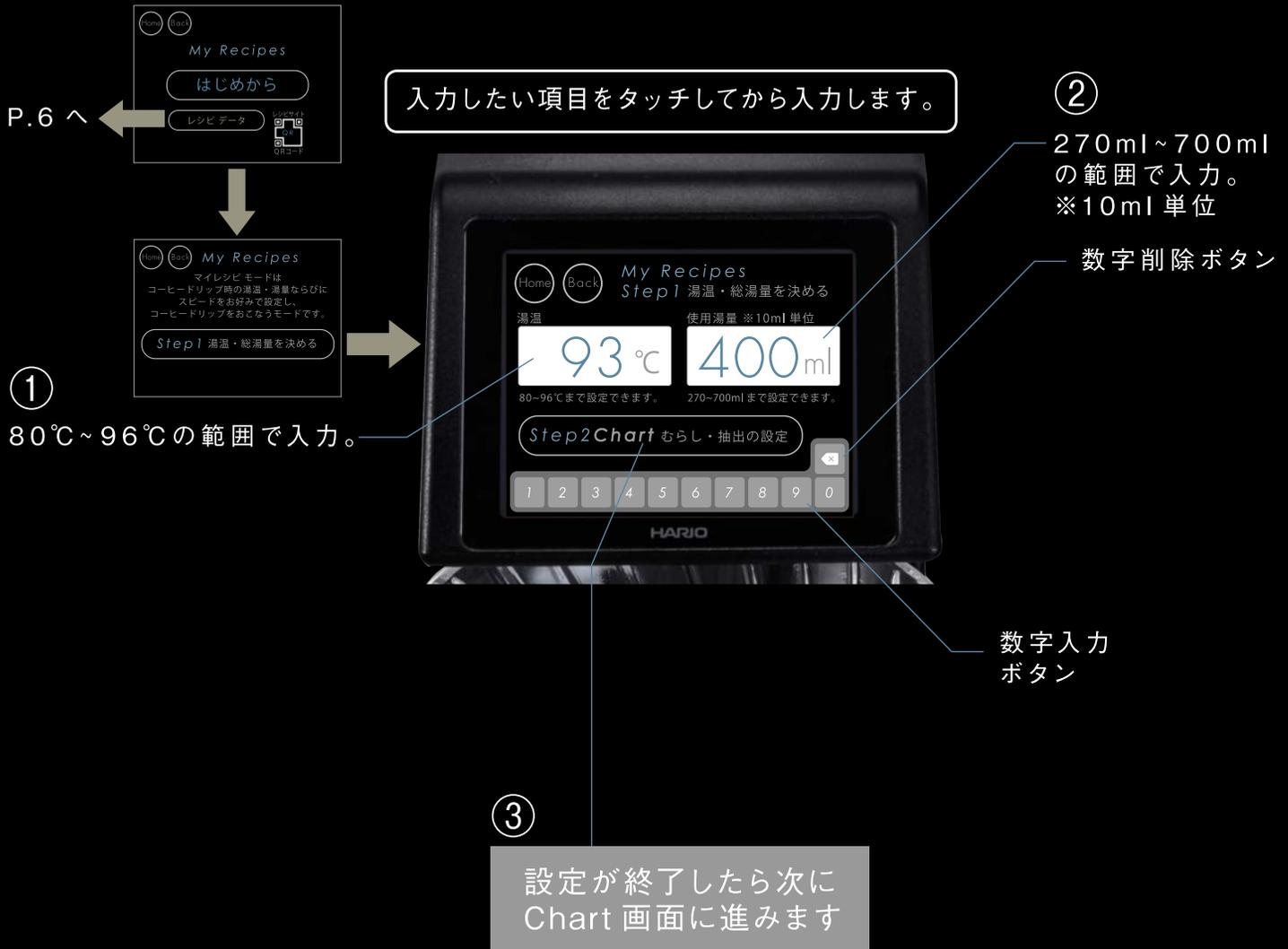
お好みの湯量・時間を設定し自由度の高いこだわりのコーヒードリップが楽しめるモードです。

コーヒーのハンドドリップには下図のような要素・流れがあり、マイレシピモードでは湯温→使用湯量→むらし湯量→インターバル→抽出湯量の順番で入力します。



Step 1

湯温・使用湯量を入力する。



Step 2

Chart 画面を使用し、むらしの湯量、時間を入力する。

① 設定ボタンから
むらし設定画面へ



合計の湯量・時間が
表示されます。

② むらし湯量を
10ml 単位で入力します。
最低湯量は 20ml~

合計の湯量・時間が
表示されます。



Chart 画面に
戻ります。
湯量・時間の設定方法が
確認出来ます。

③ 注ぐ時間を入力します。



注ぐ時間は 10ml あたり 1~3 秒の間で
入力することが可能です。入力時は湯量
を入力した時点で自動的に推奨秒数が
入ります。例：50ml = 5 秒 ~ 16 秒
※最大入力可能秒数は端数を繰り上げる
ため、若干多くなります。



④ 次の抽出までの
時間を設定します。

⑤ 入力終了したら Next ボタン
で次画面に進みます。

Step 3

Chart画面を使用し、抽出の湯量、時間を入力、スタートする。

①

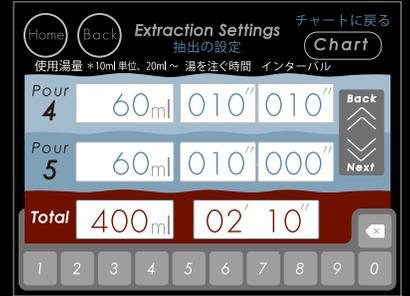
Pour 1~10 までを使用し合計湯量を設定した使用湯量まで入力します。

抽出設定画面



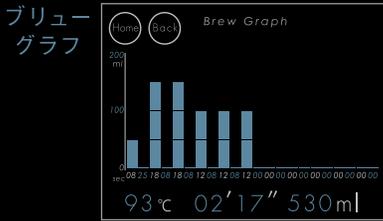
③

入力が終了したら Chart ボタンで次画面に進みます。



②

Next/Back ボタンで Pour 3~に移動します。
※全ての入力を終えないと移動できません。



棒グラフで抽出計画が確認できます。

Chart画面



④



設定した使用湯量と入力した湯量が同量になると、Enter ボタンが青色になり、Start画面に進めます。

取扱説明書 (P.6 コーヒードリップの準備) を参照し抽出の準備が整ってから、Start を押してください。

P.6 「レシピデータを保存 / 使用する」へつづく

※湯量の基本誤差は総湯量の ±8% です。
レシピによってブレが大きくなる場合があります。

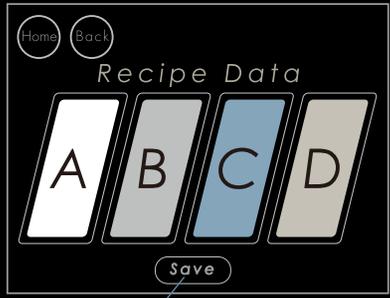
Step 4 レシピデータを保存 / 使用する

マイレシピモード スタート画面

①
マイレシピモードの
スタート画面からセーブ画面へ



セーブ画面



②
ABCD から保存する場所を
選び、セーブボタンで保存。

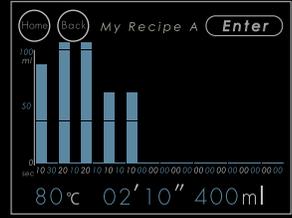
③
マイレシピモードから
レシピデータ画面へ



レシピデータ画面



⑤
グラフ画面右上 Enter ボタン
からスタート画面へ進みスタート



④ レシピデータ画面から任意のデータを選択。

QRコードを使用して
専用製品WEBページへ
アクセスいただけます。

その他のモードについて ※詳しくは 別紙 取扱説明書をご覧ください。

設定モード



QRコードを使用して
専用製品WEBページへ
アクセスいただけます。

Drain モード
ウォータータンク内にある
水を排出します。

クリーニングモード
クエン酸を使用したクリーニング
手順を参照しながら実行できます。

タッチキャリブレーション
タッチ操作のズレ補正を行ないます。

流量調整モード
流量の調整を行ないます。



画面はイメージです